

くらりあ

Vol.7



治療のお話『内服薬』

(丸山祐輝医師)

インフォメーション

新任医師紹介

(松尾医師・濱江医師)

診療担当表

私のお勧め

(田中薬剤師)

(牧田管理栄養士)

倉吉病院上空から見た倉吉市内

<お詫びとお礼>

令和4年11月末から院内にて新型コロナウイルス感染クラスターが発生しました。大変ご心配ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。また、感染拡大防止対策にご理解ご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。

院長 兼子幸一

治療のお話

内服薬



今回は丸山祐輝医師が「内服薬」について解説いたします。

心療内科や精神科の治療としては、内服薬での治療や精神療法などがあります。他の診療科と同じく、心療内科や精神科においても内服薬での治療を行うことが最も多いですので、今回はそちらについてお話しさせていただきます。



まず、当院に初回に来院いただいた際は、初診の外来にて少し長めにお話を伺い、その問診を通して診断名を検討します。疑われる診断名に応じて、必要であれば血液検査や心理検査を行うこともあります。診断が絞られれば内服薬を処方させていただくという流れになります。2回目の外来からは、その薬を内服していただいている効果や副作用の有無などをご本人様からお聞きしながら、内服薬の量や種類を調整していきます。

同じ系統の薬であっても、1つ1つの薬の特徴はかなり異なりますので、ある薬では効果が薄い場合や副作用が出てしまう場合でも、少し別の薬に変更するだけで非常に改善される方が多くいらっしゃいます。あきらめずにぜひ主治医にご相談ください。

また、心療内科や精神科の薬というのは、症状を改善させる効果以上に、症状の再発を予防する効果が高いことが多いです。もし内服薬によって症状が改善しても、自己判断で通院や内服を中断せずに、今後の見通しや方針についてぜひ主治医にご相談いただければ幸いです。

インフォメーション



春のお茶会を開催(2階病棟)



お花見(精神科デイケア)



新任医師の紹介



松尾 諒一 医師

Matsuo Ryouichi

出身大学 鳥取大学医学部医学科

専門 精神科一般

<松尾医師より一言>

以前にも一度倉吉病院で勤務しておりました。

縁があり再び勤務できることをうれしく思います。

また見知った先生方と共にみなさんに貢献できたらと思います。新病棟になったこともあり、慣れないところもあるかもしれませんが、尽力していきたいです。

<濱江医師より一言>

精神科専攻医として入職しました。倉吉病院は本県中部地域における精神科医療の中核を担っており、このような環境で勉強できることを大変うれしく思います。まだまだ未熟な点が多いと存じますが、地域の方々の健康と安全を第一に考えて最良の医療を提供できるように努めます。

鳥取県の精神科医療に貢献できるよう精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます



濱江 弘太郎 医師

Hamae Koutarou

出身大学 鳥取大学医学部医学科

専門 精神科



診療担当医表



医療福祉センター倉吉病院
令和5年4月1日

科名・診療時間／曜日			月	火	水	木	金	
精神科	午前	再来(予約制) 9:00~12:00	一診		丸山 祐輝			前田 和久
			二診	佐藤 正弘	蔡 嗣錡			佐藤 正弘
			三診			田中 潔	蔡 嗣錡	
			四診		兼子 幸一	松尾 諒一		兼子 幸一
			五診			柴山 愛実		
			六診	宇佐美優介		宇佐美優介	松村 博史	永見 剛房
			七診		永見 剛房			
	新患(予約制) 9:00~11:00		永見 剛房	田中 潔	前田 和久	佐藤 正弘	松村 博史	
			丸山 祐輝	宇佐美優介	蔡 嗣錡	兼子 幸一	柴山 愛実	
				松尾 諒一				
	午後	再来(予約制) 13:30~17:00	一診		丸山 祐輝		前田 和久	前田 和久
			二診					佐藤 正弘
			三診			田中 潔	蔡 嗣錡	
			四診		兼子 幸一	松尾 諒一		
五診					柴山 愛実			
六診					宇佐美優介	松村 博史	松村 博史	
七診				永見 剛房				
もの忘れ外来		(予約制)	※事前にお問い合わせ下さい。					

* 初めて受診される方も「予約診療」とさせていただきますので、

あらかじめ御連絡をいただきますようお願いいたします。救急時は診察いたします。

■倉吉病院 外来直通

電話 (0858)26-1088 / FAX (0858)26-1339

■地域連携室直通

電話 (0858)26-1190

■認知症疾患医療センター直通

電話 (0858)26-1015

■倉吉病院 代表

電話 (0858)26-1011 / FAX (0858)26-4794

山陰は良いとこだよ～！

私のお勧め、今回はお二人からのご紹介です。

まずは薬剤師の田中貴志さんです。普段は主に入院患者さんの調剤業務をされています。



皆さんこんにちは。

県外出身者にとっては、山陰の風景や味覚は非常に新鮮で魅力的なものですが、、、地元の皆様にその事をお伝えすると「そんなにええかな」とのお返事が多いような気がします。そこで今回の私のおすすめとして、自分が山陰に住んで感動したものをおススメさせて頂き、地元の皆様に山陰の良さを改めて再認識して頂けたらなと思います。

3位・・・夏の大山

大山の中でも特にオススメスポットとして『木谷沢溪流』と『ますみず高原』を紹介します。木谷沢溪流は飲料水のCMの撮影場所となった非常に神秘的な溪流です。ジブリのワンシーンのような世界観です。ますみず高原ではスキー場のリフトを夏シーズンも開放しており、島根半島や中海まで一望できます。



2位・・・中海の堤防道路

中海の北側に、埋め立ての際に作られた堤防上に道路が走っています。道路の高さと海面の高低差が非常に少なく、まるで海の上を走っているような感覚を味わえます。夕暮れ頃に行くと、海面が真っ赤に彩られ非常に綺麗です。中々絶景ですので是非足を運んで欲しいです



1位・・・モサエビ

山陰に来てモサエビというエビを初めて知りましたが、それもそのはずで傷みやすい為山陰以外にはほとんど出回っていない幻のエビだそうです。初めて食べた時は、あまりの美味しさに本当に驚きました。こんな美味しいエビがお店では非常に安価で売られており、その事にも大変驚きました。エビだけでなく他の海の幸も、県外ではなかなか味わえないので山陰に住む特権だなと、魚を食べる度に思います。



以上が、山陰に住んでみて感動したもののベスト3でした。お休みの日の散歩がてら、ぜひ足を運んでみて頂けたら幸いです。

ペットに癒されて・・・



続いては管理栄養士の牧田^{たかこ}仙子さんです。
普段は主に献立作成や栄養管理・栄養指導
をされています。



家に来た初日（ジジくん）



おやつを真剣に食べる様子



MAX ぽっちゃりの時

私の愛猫を紹介します。今年4歳になる黒猫を1匹飼っています。コロナ禍で家にこもりがちになった3年前、猫と暮らしたいと思い、保護猫の団体に行き譲り受けました。本当は写真映えする三毛猫などを飼うつもりで行ったのですが、つぶらな瞳に一目惚れし、肉球まで真っ黒な黒猫を選んで連れて帰りました。



初日は怖がってしまい食事も喉を通らない様子でしたが、翌日からは鳴きながらご飯をねだるようになりました。欲しがらる度にご飯やおやつをあげていたら大きくなりすぎたため一時期は減量も頑張りました。

普段は寝てばかりですが、家族が帰宅すると甘えてすり寄って来ます。おやつをあげると満足するのか、離れてしまいます。(泣)猫は家に懐くと、「家を守る」と考えるようになるそうです。家を守るために窓から外を警戒する姿が健気で可愛いです。部屋の中をパトロールしたり、朝から晩まで寝たり、自由気ままに生きる猫に毎日癒されています。



「仁」それは
敬愛をもって、
接するところ

社会医療法人仁厚会 医療福祉センター倉吉病院

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根 43 番地

ホームページ

<https://www.med-wel.jp/kurabyou/>

電話（代表）

(0858) 26-1011

FAX

(0858) 26-4794



外来アゼリア

(0858) 26-1088

精神科デイトケア

(0858) 26-4887

地域連携室

(0858) 26-1190

認知症疾患医療センター

(0858) 26-1015